

試験記録第0208号（2002年8月13日付）

UAZ-69のエンジンと変速機： 圧縮圧力の上昇、排ガスの清浄化、 変速操作の軽快化

配電単独株主株式会社、プロヴディフ・署名：車庫長Z.ライチェフ、整備士H.ボネフ・排ガス測定：自動車整備工場「フォード」、B.ヨルダノフ

ブルガリア、プロヴディフ・測定：2002年7月11日および2002年8月13日・マイ有限責任会社の社用箋で作成された試験記録（2002年8月13日付）

製品

XADO技術による処理
車両のエンジンおよび変速機を
処理

試験対象

UAZ-69乗用車
登録番号PB 1344 BB・4気筒ガソ
リンエンジン

文書の種類

委員会記録
署名・押印付き

機械類・ユニット

試験開始時の走行距離

測定内容

UAZ-69（登録番号PB 1344 BB）
：4気筒エンジン

126,000 km

4気筒それぞれの圧縮圧力、排ガス中のCOおよびHC

同一車両：変速機

126,000 km

運用中の作動評価：異音、変速操作

両測定の間、車両は通常運用で2,680 km走行した（2002年7月11日→2002年8月13日）。

主な結果

↑ 8 %

気筒別圧縮圧力、7.5〜8.0→8.0〜9.0 atm

↓ 43-50 %

排ガス中の有害成分濃度、CO 6.58→3.75%、CH
375→187 ppm

エンジンの気筒別圧縮圧力

気筒	処理前 (atm)	処理後 (atm)	増加量 (atm)
I	7.5	8.0	+0.5
II	7.5	8.0	+0.5
III	8.0	9.0	+1.0
IV	8.0	9.0	+1.0

圧縮圧力は4気筒すべてで上昇した。上昇はエンジンのメーカー規定値までに限られ、規定値を超えて圧縮圧力が上がることはない。

排ガス中の有害成分濃度

測定項目	処理前	処理後	変化
排ガス中のCO濃度 (%)	6.58%	3.75%	-43%
HC濃度 (ppm)	375 ppm	187 ppm	-50%

排ガスの測定は、外部の実施者である自動車整備工場「フォード」のB.ヨルダノフが行い、自らの印で証明した。

試験記録の結論

プロヴディフの配電単独株主株式会社の委員会は、マイ有限責任会社と共同で、XADO技術による処理の結果として次の事項を確認した。

1. 各気筒の圧縮圧力が平均**8%**上昇した。
2. 排ガス中の有害物質の排出量が**43~50%**低下した。
3. 変速機のパラメータが改善した。運転中の異音が消え、変速操作が軽くなった。車両は走行距離**126,000 km**の時点で処理を受け、通常運用での**2,680 km**走行後には早くも4気筒すべてで圧縮圧力が上昇し、排ガス中のCO濃度およびHC濃度はおよそ半減した。この間、エンジンおよび変速機の分解・修理は行われていない。結果は、毎日稼働を続けた機械類で得られたものである。

XADO

© XADO。すべての権利を留保する。
本結果は、プロヴディフの配電単独株主株式会社における運用条件下で、走行距離126,000 kmのUAZ-69のガソリンエンジンおよび変速機について得られたものである。他の機械類や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・押印付きの試験記録第0208号（2002年8月13日付）の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。